

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/11/27 Vol.64 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

<http://www.mmirai.com> (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成26年 第4回/12月議会 印西市議会定例会が開催されます。

今回の定例会は11月27日(木曜日)から12月18日(木曜日)まで行われる予定です。

「ぐんじとしのり」は、12月5日(金曜日)午後2時頃から、30分間の個人質問に立ちます。
(予定) 以下に議会事務局を通じて執行部に提出した今回の質問内容を記載させていただきます。

傍聴を希望される方は、印西市役所5階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は36名です。よろしく願い致します。(また、インターネット議会中継を会期中はLIVEで行っています。詳細は、以下をご覧ください。また、録画中継は本会議が行われた後、概ね一週間以内に配信されます。)

・・・ <http://www.city.inzai.chiba.jp/www/contents/1195094404828/index.html>

(印西市役所のHPより、印西市議会⇒市議会からのお知らせで同画面になります。)

ぐんじとしのり 第4回(12月)定例議会 個人一般質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 子ども・子育て支援法について

国の子ども・子育てをめぐる多くの課題を解決するため、「子ども・子育て支援法」を中心とする子ども・子育て関連3法が成立し、来年4月から子ども・子育て支援新制度が本格スタートします。新制度は、消費税率引き上げによる増収分の一部が財源として充てられることとなり、貴重な財源を、子ども・子育て支援のために効果的に活用していくことを予定しています。

- (1) 消費増税が先送りされた場合、新制度の主たる目的を印西市では達成することが可能か。
- (2) 新制度に関わらず、保育の場を増やし、保育園待機児童は解消すべき課題であると考え、市の現状と今後をお聞きする。
- (3) 幼児期の学校教育及び保育の質の向上はどのように図るつもりか。
(特に学童保育の充実についてお聞きする。)

2. 二次救急医療と印西市について

印西総合病院が民事再生を申請し3ヶ月が過ぎ、また夜間診療を行うと周知していた「印西平原クリニック」も事実上休業状態にある。印西市は休日夜間を含む救急医療体制を今後、どのように市民に提供していこうと考えているのか。

3. 千葉ニュータウン地域の今後について

- (1) グッドマン・ジャパンは11月13日にマルチテナント型物流施設を含む総合的なビジネスパークの開発を千葉ニュータウンで行うと発表した。この開発は、グッドマンがマスタープランを手掛ける革新的なコンセプトの大規模ビジネスパークとし、複数の施設で構成し、その竣工価値は総額1000億円超としている印西市ではこの情報に関して、同社と接触をもっているのか。
- (2) 住居に近接している「近隣商業施設用地」は今後どうなるのか。(高花、滝野、いには野)
- (3) 今後の千葉ニュータウン未処分用地について、URや千葉県企業庁と今年度どのような話し合いが行われているのか。

4. 放射線/放射能問題について

印西市は11月14日午後、放射性物質汚染対処特別措置法に基づく汚染状況重点調査地域の指定を受けた千葉県内9市の共同により、環境大臣に宛てて、『「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」に基づく「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議」に係る緊急要望』を提出しました。

この要望書の内容は、「子ども・被災者支援法に基づく健康管理並びに医療施策に関する支援は、

千葉県9市を含む汚染状況重点調査地域において、すべての住民が実情に則した適正な検査や医療を選択できるようにすること」をはじめとする4項目にわたっています。

(1)「専門家会議」の内容を市は十分に把握しているのか。

(2)市民団体が先日、白井市桜台で独自に「甲状腺エコー検査」を実施し、甲状腺疾患に不安をもっている印西市民が多数、受診しました。印西市はこの状況をどのように捉え、今後、環境省への要望書の中に盛り込んだ「適正な検査や医療」をどのように具現化していくのか。

5. 牧の原地区からの要望について (* 一部抜粋)

(1)原小学校北側道路(草深公園とふれあい文化館の間の道)は学校前に信号が設置されたとはいえ、走行車両が多く、子供が多く危険だと考えています。車がスピードを出しづらい措置は考えられないか。

(2)通勤、通学等で東の原地区北側に接する市道を歩行する住民が増えていますが、道路照明、街路灯が全くなく、夜間の歩行に大きな障害となっています。防犯の観点からも早急に整備が必要だと考えるが、市はどのように認識しているのか。

(3)国道464号線の信号付近に繁茂する雑草が伸び放題になり苦情が寄せられる。なぜ、対応できないのか。

ニュータウン中央アルカサル内に保育園が開園します。

市内の認可保育園である「しおん保育園」が、千葉ニュータウン中央駅北側のアルカサル内に分園を設置するもので、定員は0歳児3人、1歳児12人、2歳児12人の計27人で、平成27年4月開園を予定しています。(東日本住宅東側です。)

* 一方では大幅に遅れています。>> (仮称)ビッグホップ内保育園 * 3歳未満児のみ40名(0歳児6名、1・2歳児17名)・・牧の原駅前のビッグホップ/コンビニ跡地に保育園
当初の開園予定は、、 今月10月でしたが「内装工事の入札が3度不調」になっています。

* また、遅れていた「草深こじか保育園」は平成27年1月開園予定です。(カスミ西の原店南方)
※ 1月入園(保留者のうち希望園変更)を希望される場合は、12月10日(水)までに必要書類(入園申込書類等)の提出を市役所までお願いします。(市役所 電話42-5111 保育課)

「いこいの湯」は復活できないの？

6月の定例議会において「再開を求める請願」に対して多数の議員が賛成しましたが、議会側には、予算の提案権はなく、再開に向けては市長の判断一つにかかっているのが現状です。私自身は引き続き、高齢化施策の一つとして、粘り強く再開を求めています。

(質問) 高齢者が気軽に集える固定された場を設け、その不安(健康上、メンタル上)な気持ちに寄り添い、地域に密着した活動を行うことを地域コミュニティの中に位置づけていく必要があると考えます。 印西市の高齢化対策として、こうした取り組みを研究したことはあるか。

* 解説 / 「暮らしの保健室」(東京都新宿区)というNHKスペシャルでも放送されている取組があります。私は今年2月に主宰者の講演会に行って話を聞いてきました。(各地から視察に來ていると聞きました。)同じようなことが印西市でもできないのでしょうか？

(回答抜粋/市長) 高齢者対策の一つとして、現在市では介護予防事業として、住民主体で地域づくりを行いながら取り組む「いんざい健康貯筋運動」を実施しています。また、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築にしましても、地域づくりは不可欠です。今後調査・研究していきます。

==> 私は高齢化率が他自治体に比べて低い印西市だからこそできる施策を、今、考え、試行していくべきだと思ひ、議会で提言していますが、市は理解できているのでしょうか。皆様はどう思いますか？

市政の最新情報を求める方は私のブログ(検索画面で「ぐんじとしのり」)をご覧ください。

市民参加のまちづくりを引き続き皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり